



# おきぎん経済研究所

NEWS RELEASE

“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

2016年9月27日

各位

株式会社 おきぎん経済研究所

「第65回おきぎん企業動向調査」  
(2016年7-9月期) 調査結果

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、ご遠慮なく下記までご連絡ください。

・担当：高良

問い合わせ先：(電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200)

現場主義とお客さまからの信頼

# 第 65 回おきぎん企業動向調査(2016 年 7-9 月期) 調査結果

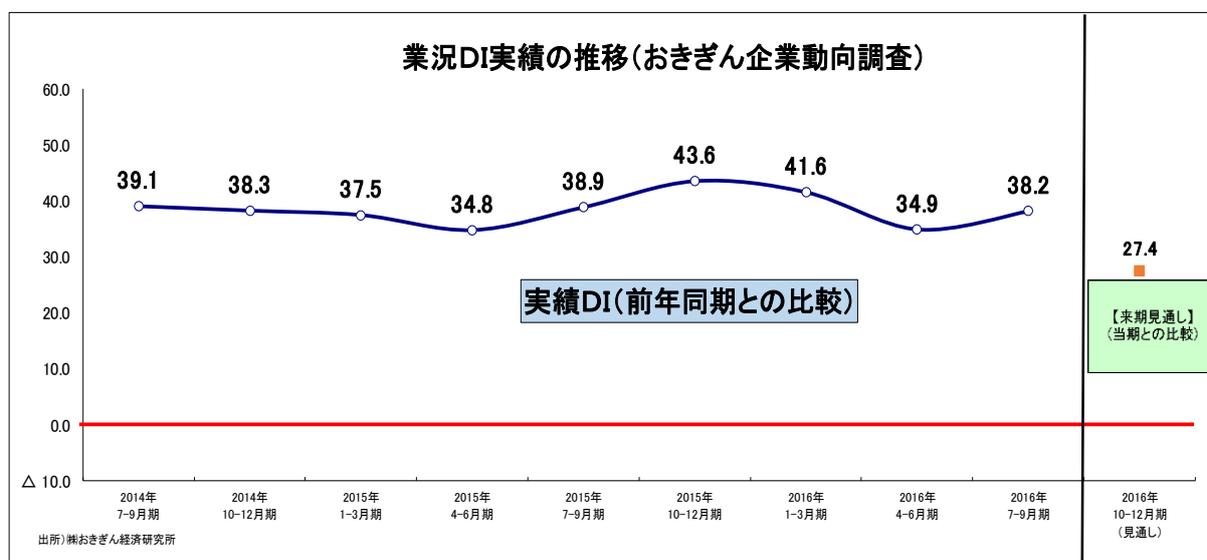
～県内(地域・業種別)の経営環境と業況感(2016 年 10-12 月期見通し)～

## I. はじめに

### 1. 調査の結果

【業況DIの推移】	2015年		2016年			
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期 (見通し)
項目	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前期比DI
<b>全業種計</b>	<b>38.9</b>	<b>43.6</b>	<b>41.6</b>	<b>34.9</b>	<b>38.2</b>	<b>27.4</b>
製造業	41.7	47.7	42.6	34.0	40.4	21.3
土木業	34.8	37.5	47.4	31.3	31.6	36.8
建築業	43.7	45.2	44.3	46.8	41.9	31.2
卸売業	26.0	37.5	30.5	24.2	27.4	16.4
小売業	38.0	35.0	27.1	33.8	48.1	33.8
情報通信サービス業	53.8	37.5	33.3	8.3	22.2	11.1
医療・福祉	20.0	20.0	22.7	11.1	7.4	29.6
その他サービス業(宿泊・飲食等)	60.8	70.6	52.5	39.1	44.3	18.0
その他(不動産、運輸等)	36.1	45.6	52.4	39.8	43.1	38.5

- 2016 年 7-9 月期の業況DIは **38.2** (前年同期比) となり、**全業種で業況改善の動き**がみられ、2011 年 7-9 月期より 21 期連続のプラスとなりました (2 桁プラスは 2012 年 1-3 月期より 19 期連続)。
- 2016 年 10-12 月期の業況見通しDIは **27.4** (2016 年 7-9 月期比) となり、引き続き**全業種で業況改善の動き**が見込まれます。



**2. 調査の概要:**本調査では各企業の業況や売上高、売上・仕入単価、採算等の経営状況項目について、主に経営者の判断(当期実績、来期見通し)をDI(景気動向指数)として取りまとめました。

- a. 調査時期:2016年8月中旬～9月上旬  
 b. 調査対象:県内企業 471社 回答  
 c. 調査内容:①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価 ⑤採算 ⑥引き合い(問合せ等)  
 ⑦雇用 ⑧設備・その他投資需要(第51回調査までの「IT関連投資」と「その他の投資」を統合)

**—おきぎんDIについて—**

主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変(変わらない)」、「悪化・低下・減少」のいずれかでお答えいただき、各割合を表したものです(本レポートでは「悪化・低下・減少」はマイナス表示を使用)。

①「好転・上昇・増加」+「不変(変わらない)」+「悪化・低下・減少」=100%

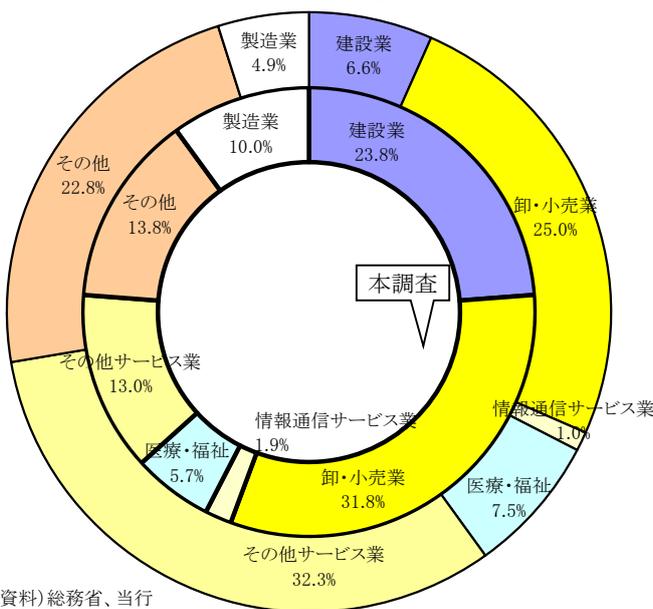
②DI(景気動向指数)＝「好転・上昇・増加」の割合(%)－「悪化・低下・減少」の割合(%)

従って、**DIがプラスなら景気が良い(または上昇見込み)、マイナスなら悪い(または下降見込み)とご覧いただけます。**

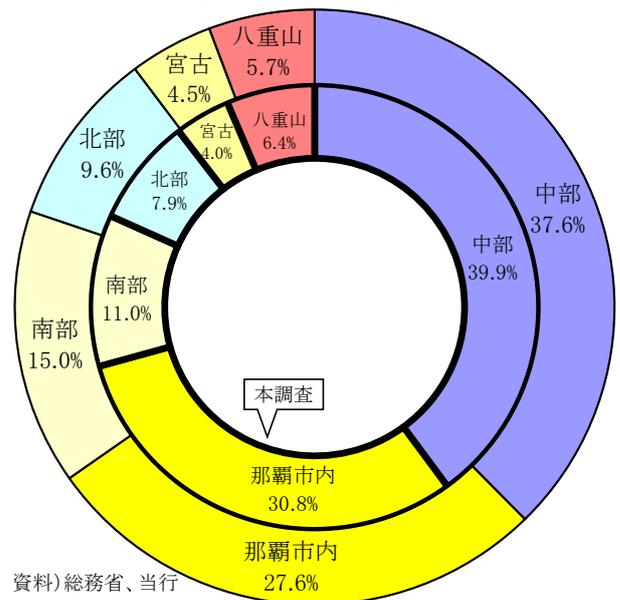
**3. 調査対象企業の業種・所在地構成**

- 本調査の**業種構成**を県内事業所データ(2014年経済センサス基礎調査)と比べると、【建設業(本調査では土木・建築業)】、【卸・小売業】、【製造業】、【情報通信サービス業】はサンプリング数が多く、【**その他サービス業(宿泊、飲食等)**】、【**その他(不動産、運輸等)**】、【**医療・福祉**】はサンプリング数が少なくなっています。
- **所在地構成**については、中部・那覇市内で7割を超えるシェアとなっています。

産業別事業所数の構成(外円:沖縄県、内円:本調査)



事業所数所在地の構成(外円:沖縄県、内円:本調査)

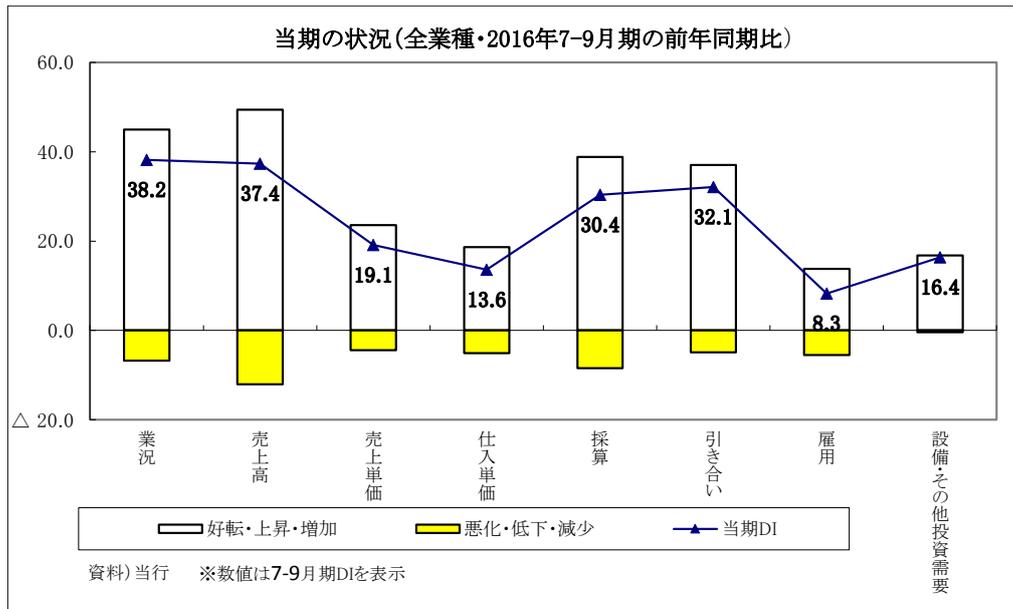


## Ⅱ.調査結果(1) ～おきぎん DI: 県内の経営環境と業況感について～

### 1. 全業種

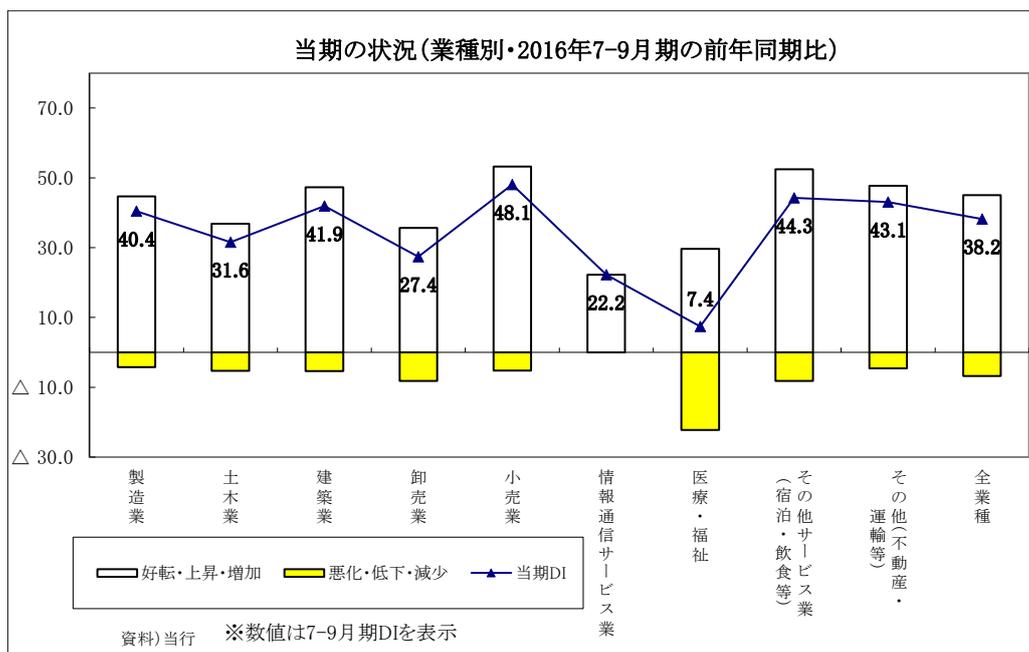
#### a.①当期の状況(項目別・2016年7-9月期の前年同期比)

当期の業況は 38.2 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。公共・民間工事の受注増加や観光のトップシーズン到来による国内外観光客需要の増加などから、売上高(37.4)や引き合い(32.1)をはじめ、多くの項目で改善の動きがみられます。一方で、一部では資材価格高騰などの影響から、仕入単価(13.6)の上昇が懸念されています。



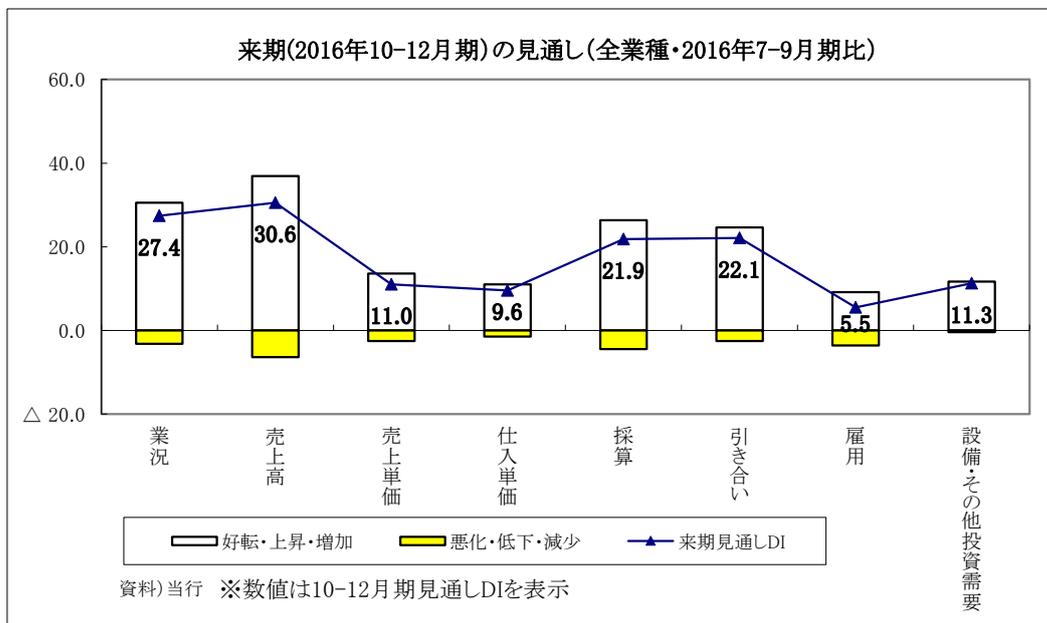
#### a.②当期の状況(業種別・2016年7-9月期の前年同期比)

業種別では、全ての業種において業況改善の動きとなりました。国内外観光客の需要増加がみられる【小売業(48.1)】、【その他サービス業(44.3)】や、公共・民間工事の受注増加がみられる【その他(43.1)】、【建築業(41.9)】などにおいて、全業種 DI を上回る強さがみられます。



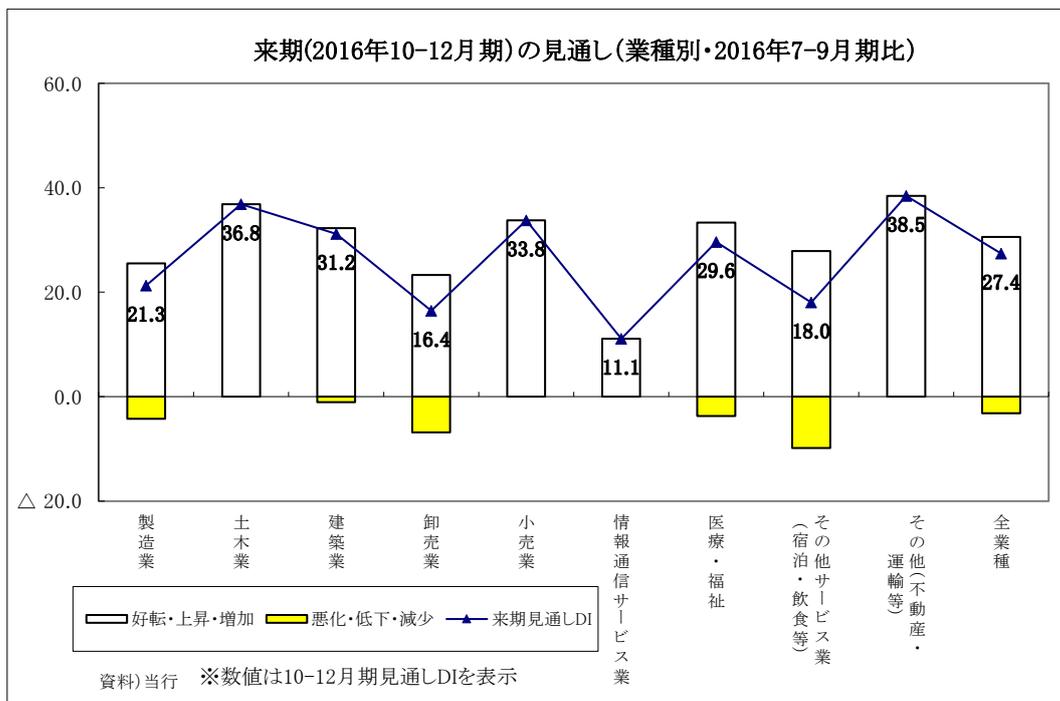
b.①来期の見通し(項目別・2016年10-12月期の2016年7-9月期比)

来期見通し業況DIは27.4となり、引き続き、業況改善の動きが見込まれます。引き続き、公共・民間工事の受注増加や、インバウンド(訪日観光客)、修学旅行シーズンなどの観光需要の増加から、売上高(30.6)、引き合い(22.1)、採算(21.9)など、多くの項目で改善の動きが見込まれます。



b.②来期の見通し(業種別・2016年10-12月期の2016年7-9月期比)

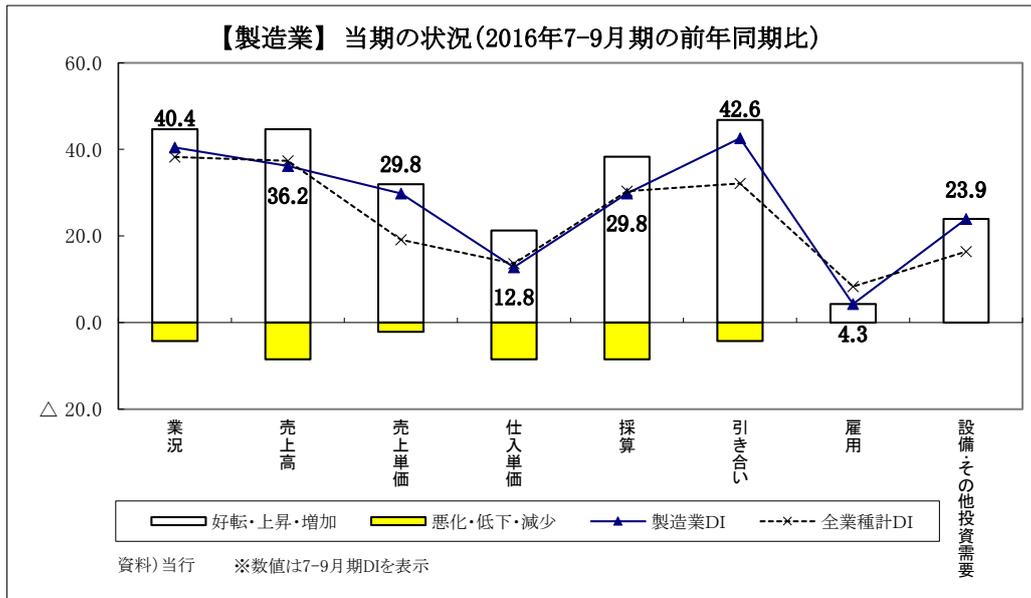
業種別では、全業種において業況改善の動きが見込まれます。【その他(38.5)】、【土木業(36.8)】、【小売業(33.8)】などにおいて、全業種DIを上回る強さが見込まれます。



## 2. 製造業

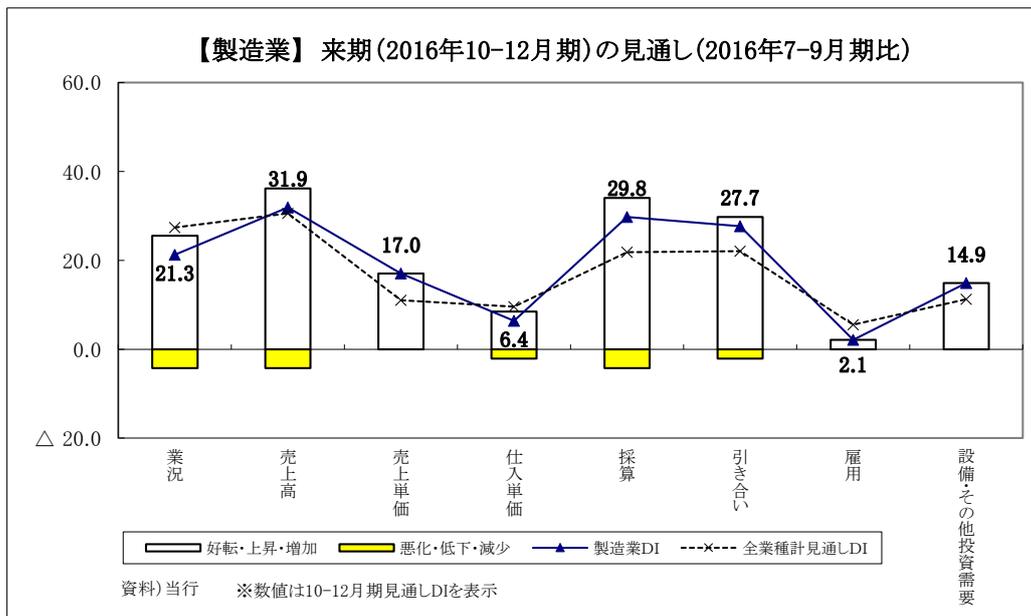
### a. 当期の状況 (2016年7-9月期の前年同期比)

業況DIは40.4となり、全体としては業況改善の動きがみられます。生コン製造業(二次製品含む)では、公共・民間工事に伴う需要の高まりなどにより、売上高・引き合い・採算の増加がみられます。食品製造業(菓子・豆腐・モズク・野菜加工など)では、観光のトップシーズン到来による需要の高まりや販路拡大などにより、売上高・採算・引き合いの増加がみられます。また、一部では為替や原油価格の影響から仕入単価が減少し、採算が改善している事業者がみられます。



### b. 来期の見通し (2016年10-12月期の2016年7-9月期比)

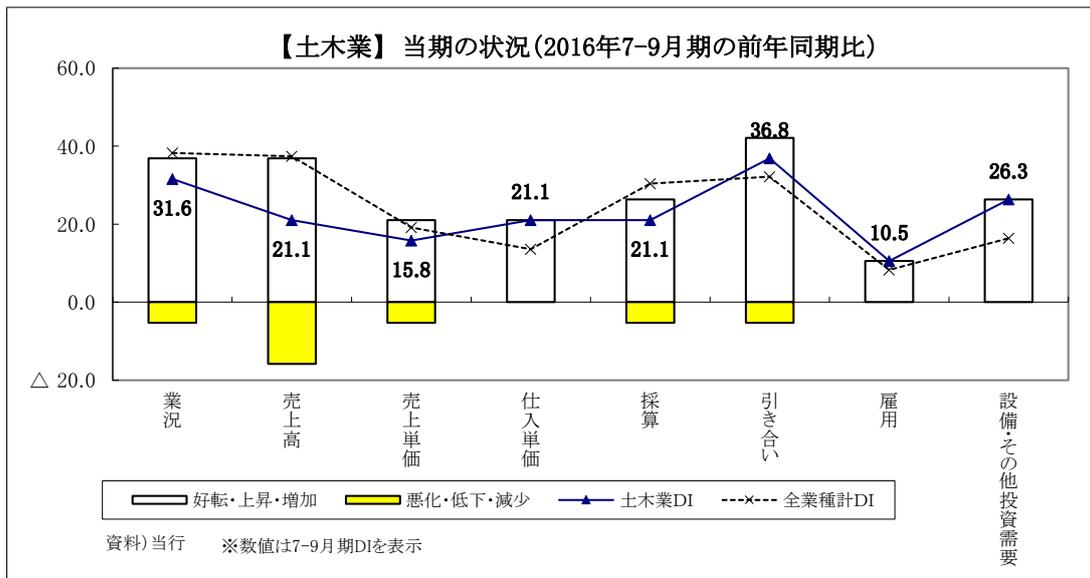
見通し業況DIは21.3となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、食品製造業などでは、年末商戦に向けた需要の高まりや販路拡大などにより、売上高・引き合い・設備投資需要の増加が期待されます。また、一部では、為替や原油価格の影響による仕入単価の減少や採算の改善を見込む事業者がみられます。



### 3. 土木業

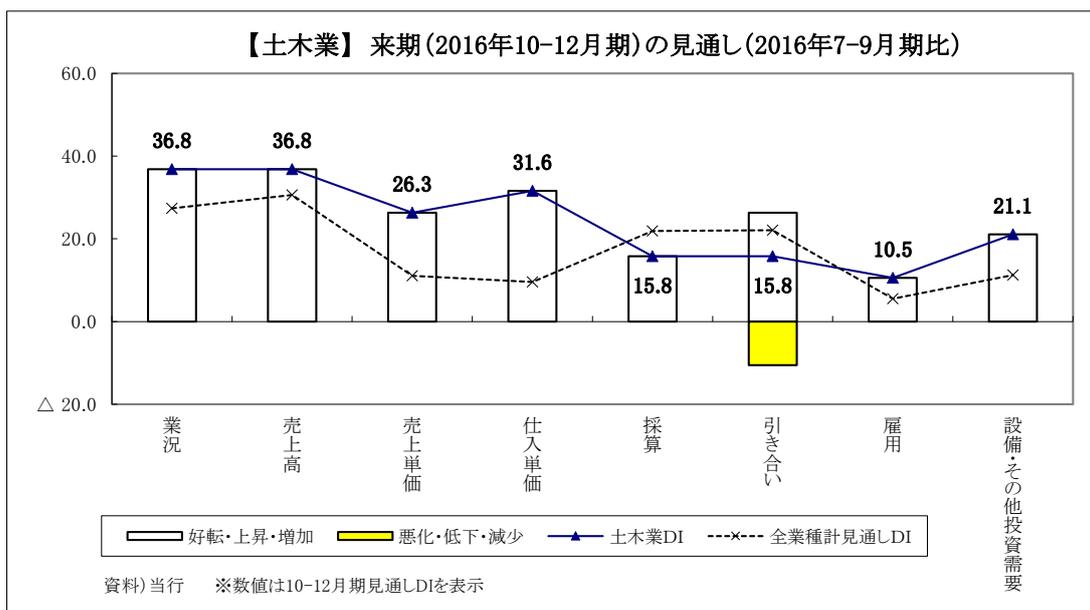
#### a. 当期の状況 (2016年7-9月期の前年同期比)

業況DIは 31.6 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。公共工事の受注増加から、売上高・売上単価・採算・引き合いが増加しています。一方、一部では資材価格高騰などによる仕入単価の上昇を懸念している事業者や工事入札の競合による受注減少から、売上高や採算が悪化している事業者がみられます。



#### b. 来期の見通し (2016年10-12月期の2016年7-9月期比)

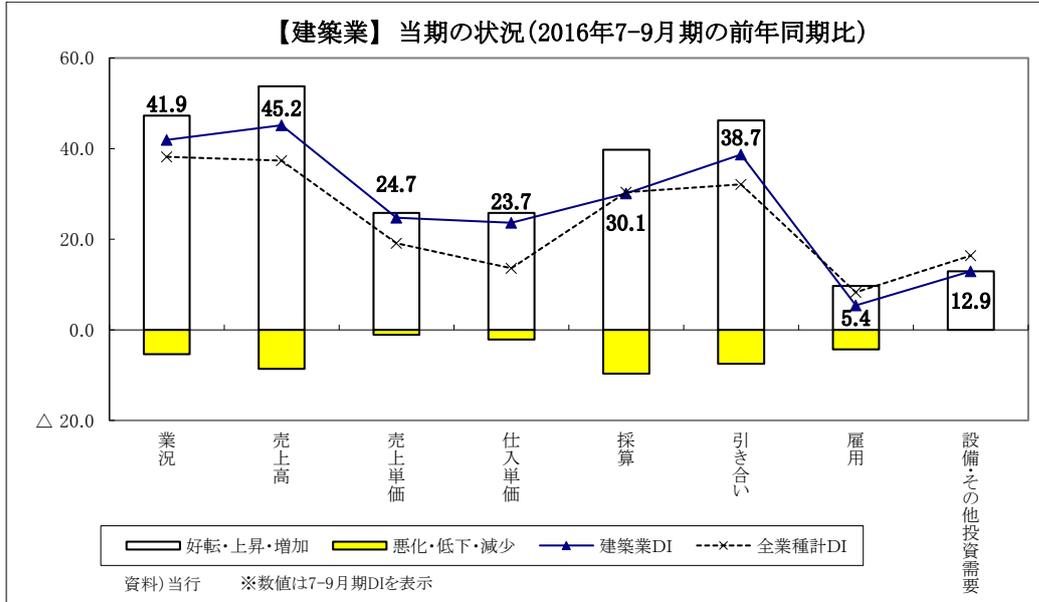
見通し業況DIは 36.8となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、公共工事の受注増加が見込まれることなどから、売上高・採算・引き合いの増加が期待されます。一方で、一部では、工事入札のピークが一巡することで、引き合いの減少を見込む事業者もみられます。



#### 4. 建築業

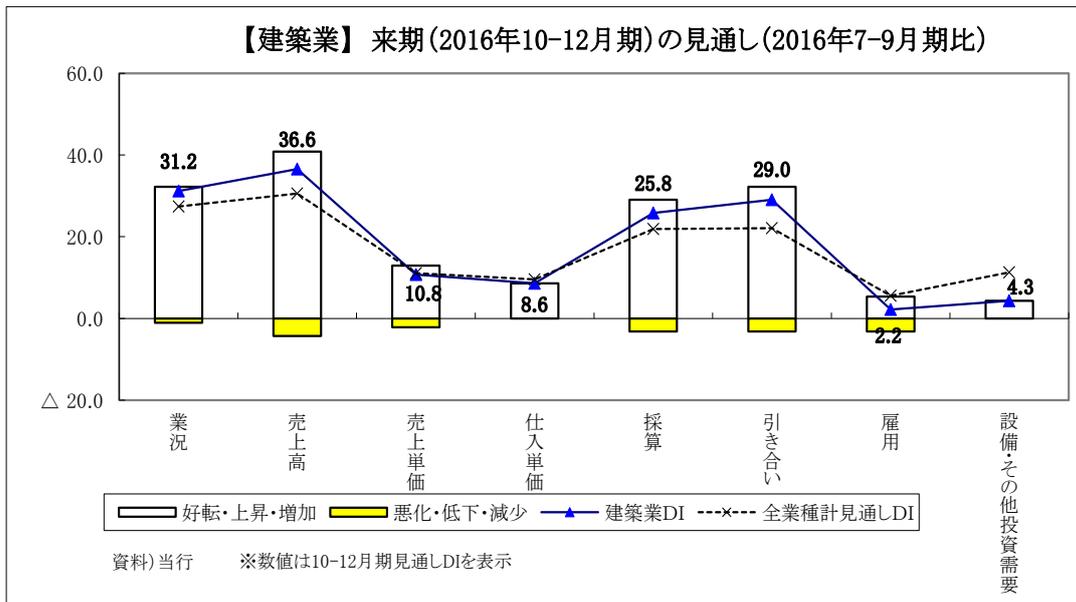
##### a. 当期の状況 (2016年7-9月期の前年同期比)

業況 DI は 41.9 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。公共工事(空港関連、基地内等)や民間工事(アパート、マンション、ホテル、リフォーム等)の受注増加などから、売上高・引き合い・採算が増加しています。一方で、一部では資材価格や人件費の高騰による採算の悪化を懸念している事業者や、人手不足から受注を断念している事業者もみられます。



##### b. 来期の見通し(2016年10-12月期の2016年7-9月期比)

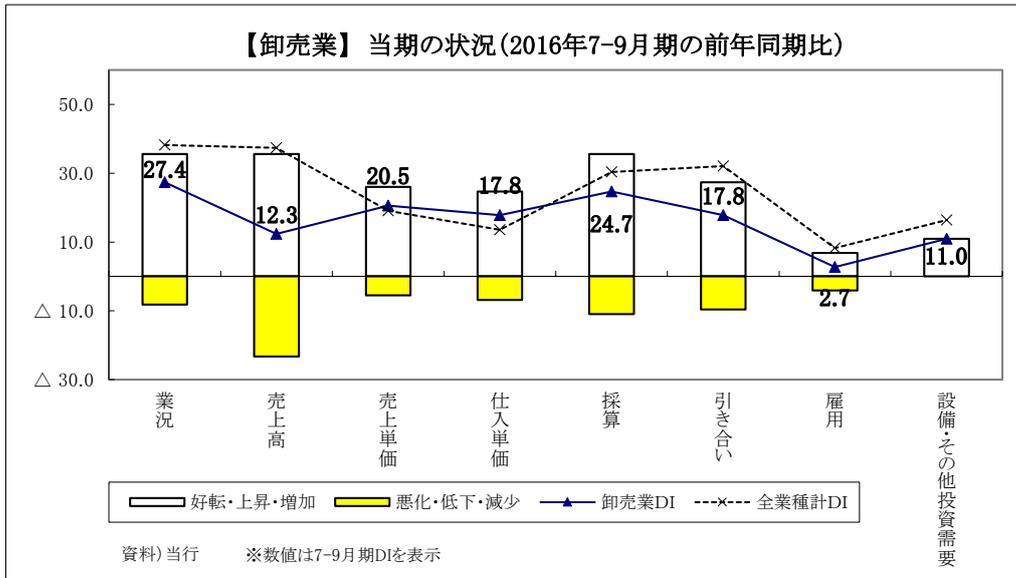
見通し業況 DI は 31.2 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、年末にかけて公共・民間工事の受注増加や手持ち工事の完成が見込まれるなど、売上高・採算・引き合いの増加が期待されます。一方で、一部では資材価格の高騰や人手不足の影響を懸念している事業者もみられます。



## 5. 卸売業

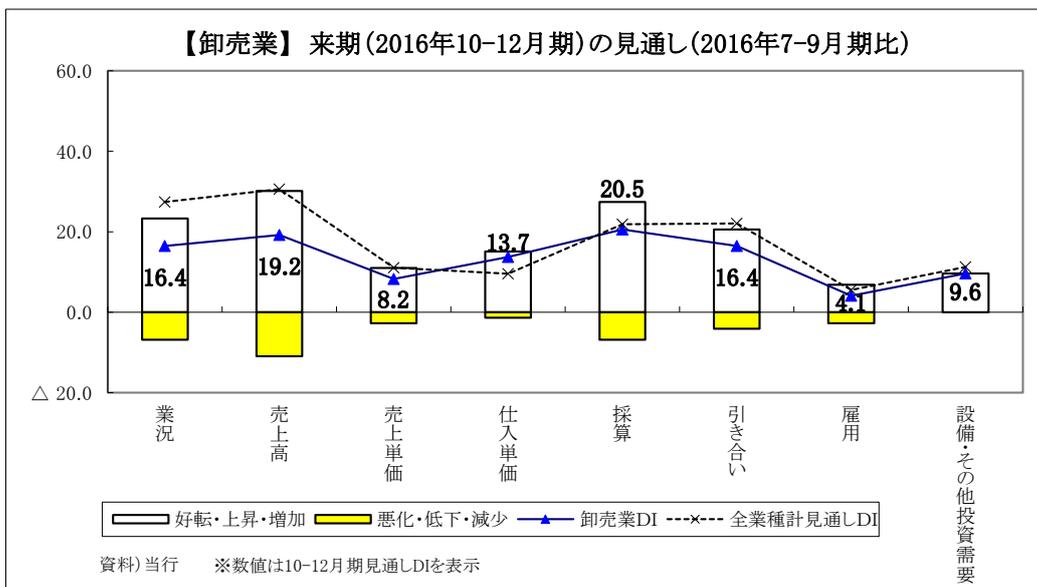
### a. 当期の状況 (2016年7-9月期の前年同期比)

業況DIは27.4となり、全体としては業況改善の動きがみられます。衣料、食品卸売業(食肉・水産物・青果・花卉等)では、インバウンド(訪日観光客)需要の増加や台風の影響が少なかったことなどから、また、建築資材・金物・機械器具卸売業では、堅調な公共・民間工事需要に伴い、売上高・採算・引き合いが増加しています。一方で、一部の建築資材卸売業では、木材などの資材価格高騰や工事受注の遅れ、減少などから、売上高・採算・引き合いが悪化している事業者がみられます。



### b. 来期の見通し (2016年10-12月期の2016年7-9月期比)

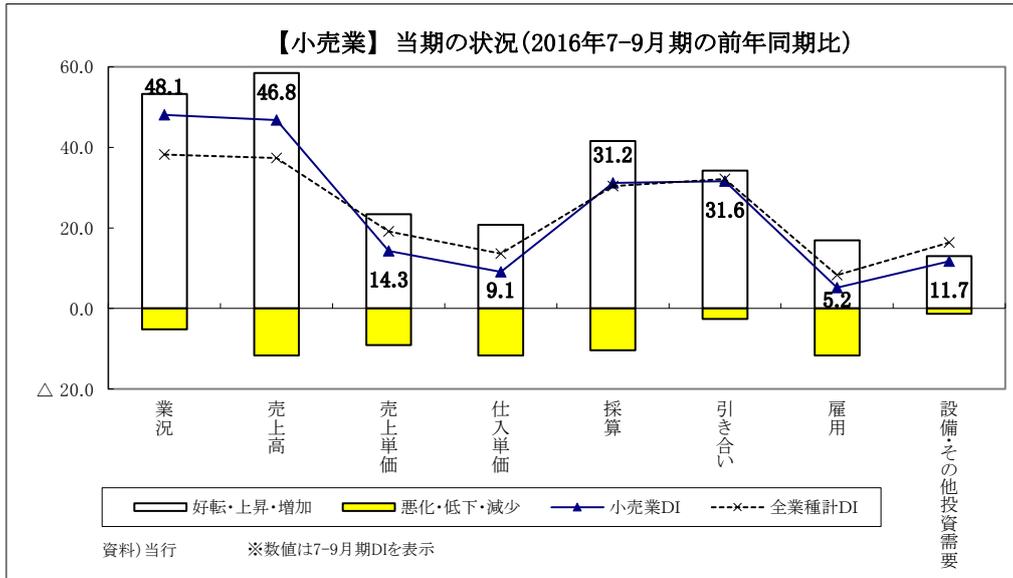
見通し業況DIは16.4となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、建築資材卸売業では、公共・民間工事の受注増加などから、また、食品卸売業では、年末商戦に向けた需要の高まりなどから、売上高・採算・引き合いの増加が見込まれます。一方で、一部の食品卸売業では、観光のトップシーズン終了による観光需要の落ち込みや、本土に上陸した台風の影響による仕入単価の上昇などから、売上高・採算の悪化を懸念する事業者もみられます。



## 6. 小売業

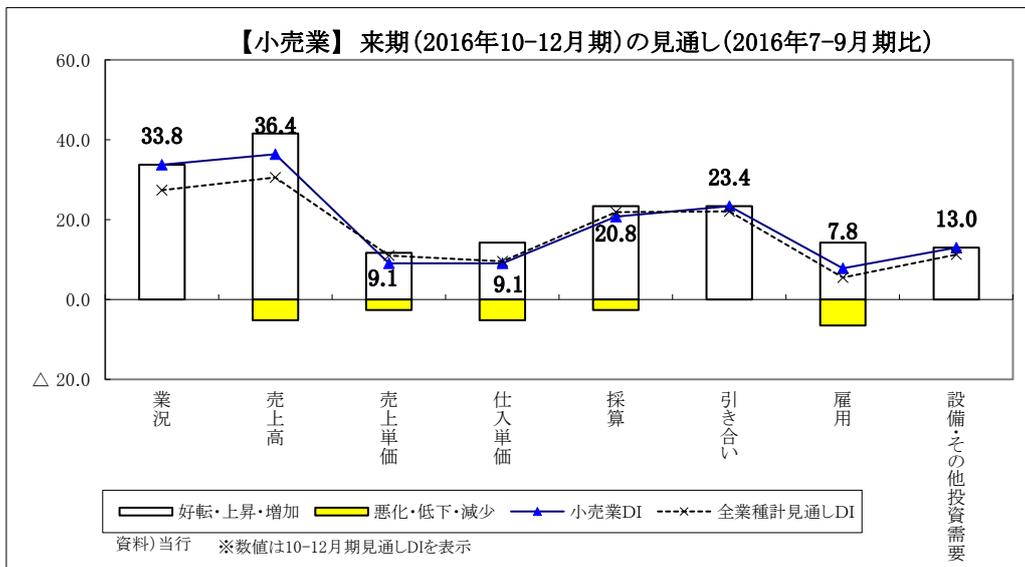
### a. 当期の状況 (2016年7-9月期の前年同期比)

業況DIは 48.1 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。スーパー、コンビニエンスストア、百貨店、観光土産品、雑貨販売業などでは、観光のトップシーズン到来による国内外観光客の需要増加や新規出店などにより、売上高・採算・引き合いが増加しています。また、ガソリン、ガス販売業では、原油価格下落の影響から売上高、売上単価、仕入単価の減少がみられます。一方で、一部では修学旅行やインバウンド(訪日観光客)などの観光需要が落ち込み、売上が減少している事業者もみられます。



### b. 来期の見通し (2016年10-12月期の2016年7-9月期比)

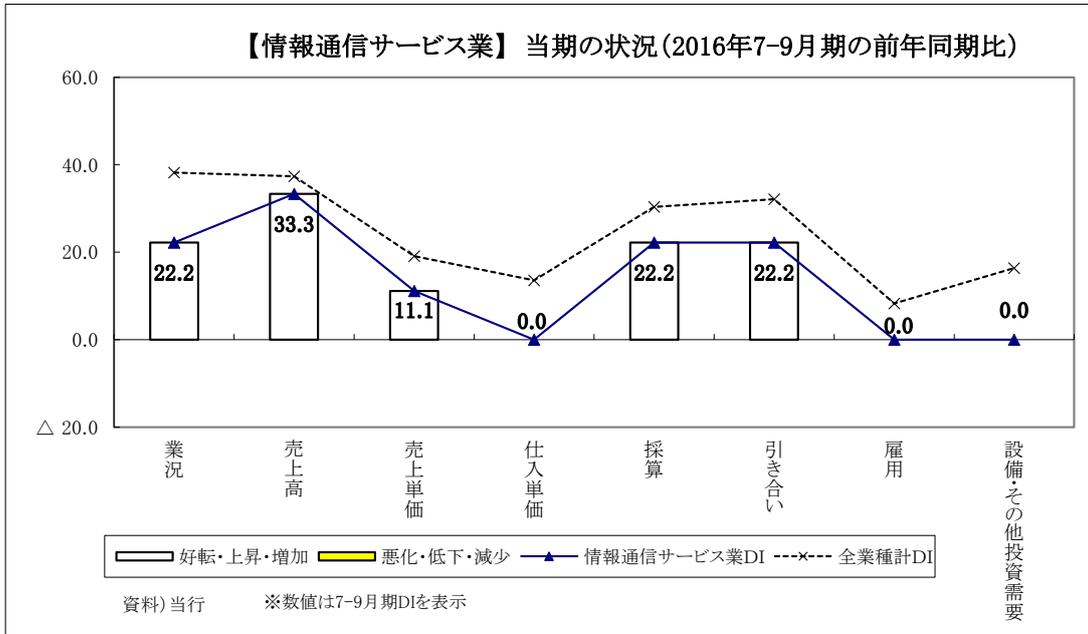
見通し業況DIは 33.8 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。スーパー、コンビニエンスストア、観光土産品販売業などでは、引き続き、継続的なインバウンド需要の増加を見込むほか、新規出店が予定されており、売上高・引き合いの増加が期待されます。一方で、一部では恒常的な人手不足による売上高や雇用への影響を懸念する事業者もみられます



## 7. 情報通信サービス業

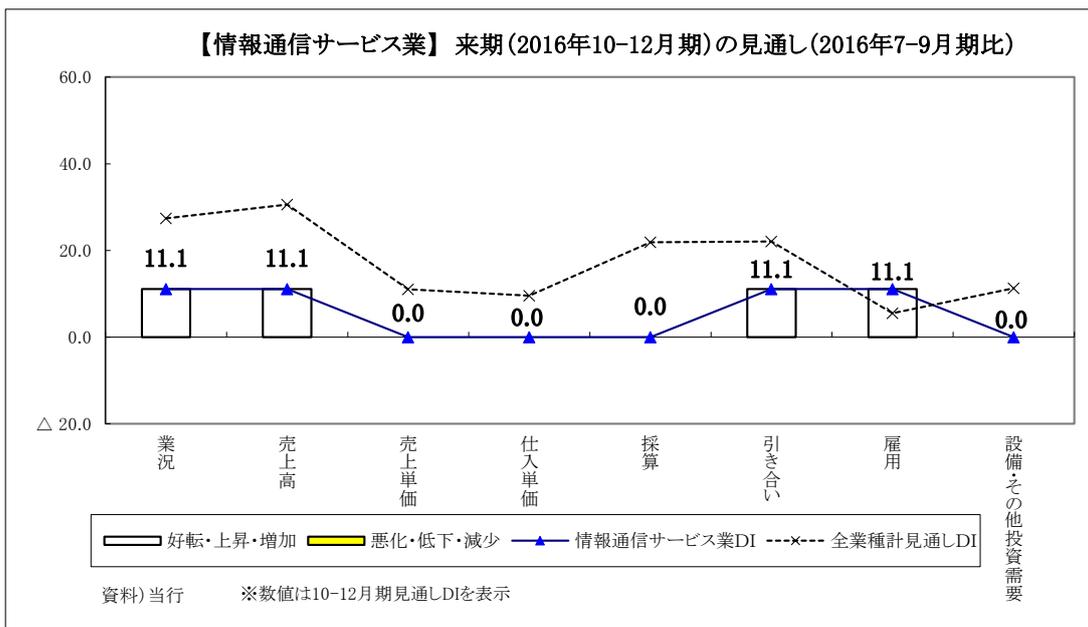
### a. 当期の状況 (2016年7-9月期の前年同期比)

業況DIは 22.2 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。インターネット機器取付業では、アパートなどへの機器設置が増加しているほか、情報通信サービス業では、県外企業からの受注増加などにより、売上高・引き合いが増加しています。



### b. 来期の見通し (2016年10-12月期の2016年7-9月期比)

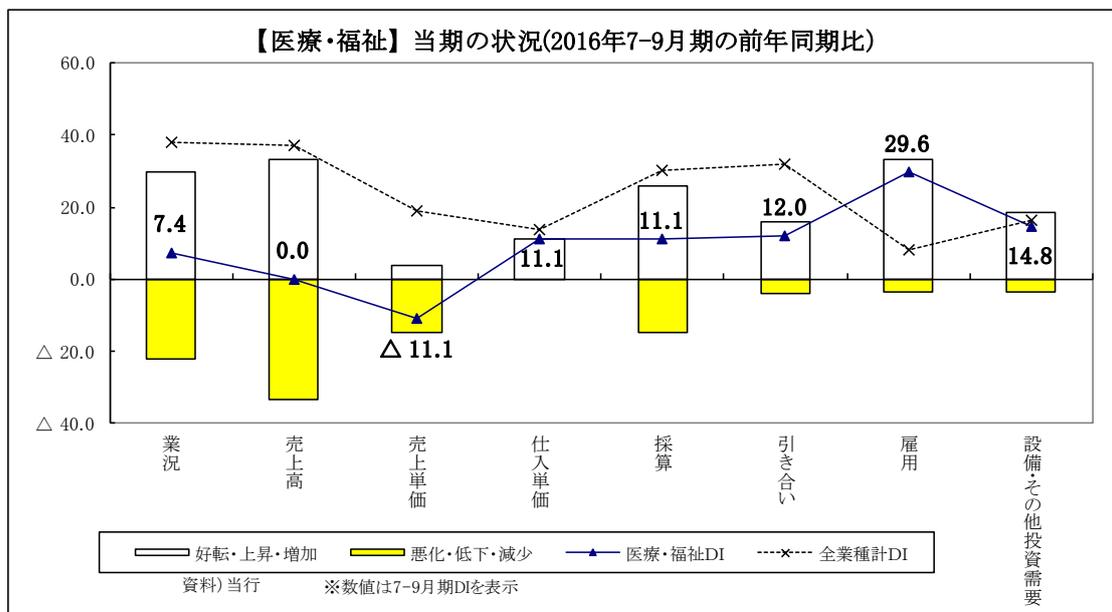
見通し業況DIは 11.1 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。ソフトウェア開発業では、手持ち案件の増加などによる雇用の増加が見込まれるほか、情報通信サービス業では、年度末に向けた受注増加を見込んでおり、売上高や引き合いの増加が期待されています。



## 8. 医療・福祉

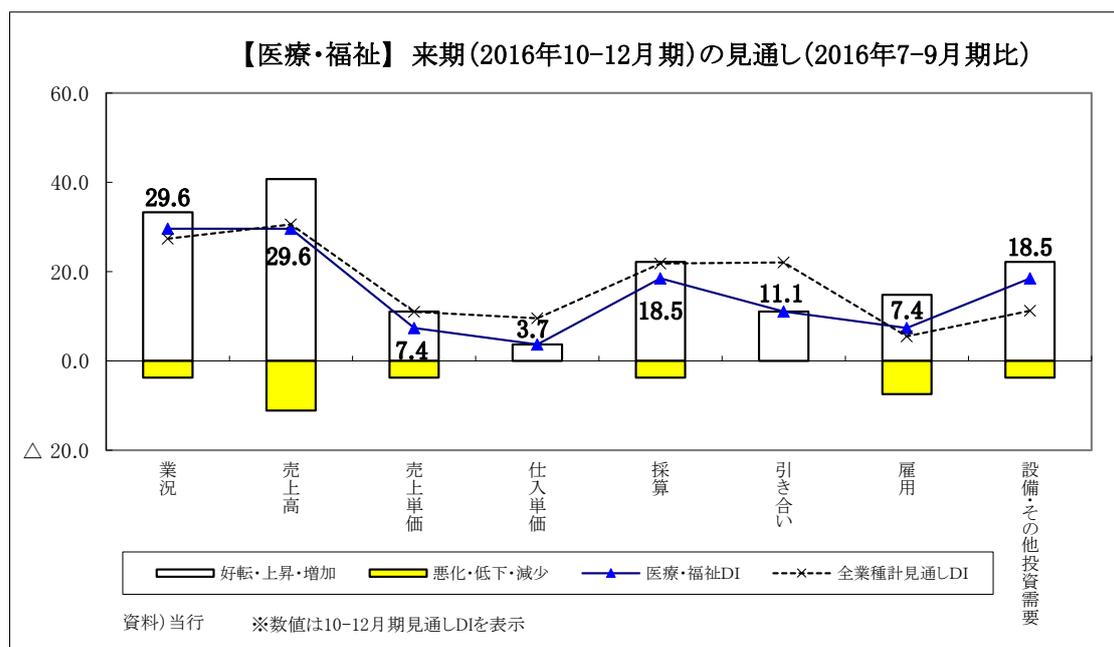
### a. 当期の状況(2016年7-9月期の前年同期比)

業況DIは 7.4 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。医療、介護施設などでは、新規事業所の開設、医師や看護師の増員による利用者(入所者)の増加などにより、売上高・採算・雇用が増加しています。一方で、一部の医療・介護施設では、職員の減少や移転に伴う利用者の減少などから売上高・売上単価・採算の悪化がみられています。



### b. 来期の見通し(2016年10-12月期の2016年7-9月期比)

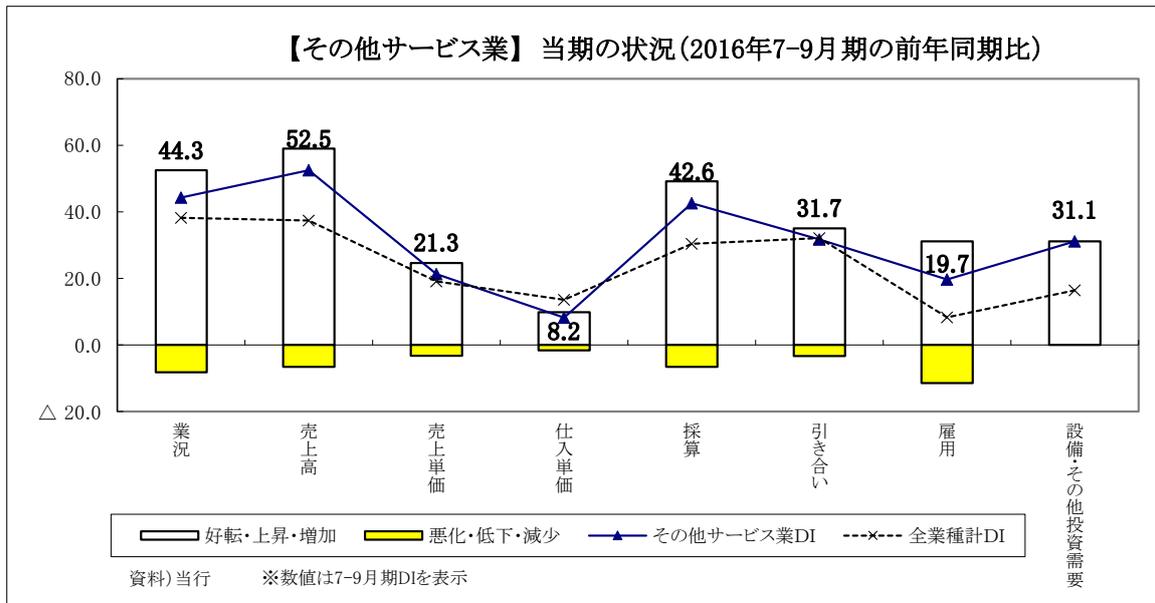
見通し業況DIは 29.6 となり、全体としては業況改善の動きがみられ、医療施設の経営環境は堅調に推移することが見込まれます。また、一部の医療、介護施設では、新規事業所の開設や利用者の増加などが見込まれており、売上高・採算・設備投資需要の増加が期待されています。



## 9. その他サービス業(宿泊、飲食、ゴルフ場、遊戯場、結婚式場、教育関連等)

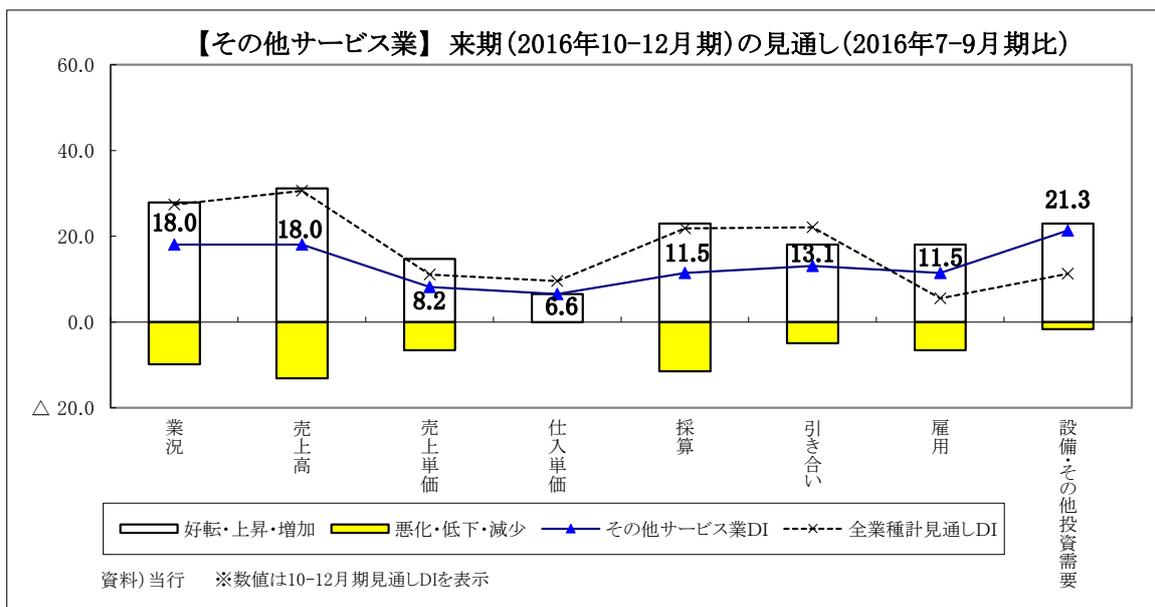
### a. 当期の状況(2016年7-9月期の前年同期比)

業況DIは 44.3 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。旅行、宿泊、飲食業(ラーメン店、居酒屋、焼肉店など)では、観光のトップシーズン到来による国内外観光客需要の増加や新規出店、販路拡大などにより、売上高・採算・引き合い・雇用・設備投資需要が増加しています。一方で、一部では人手不足による人件費の増加や雇用の確保を懸念している事業者もみられます。



### b. 来期の見通し(2016年10-12月期の2016年7-9月期比)

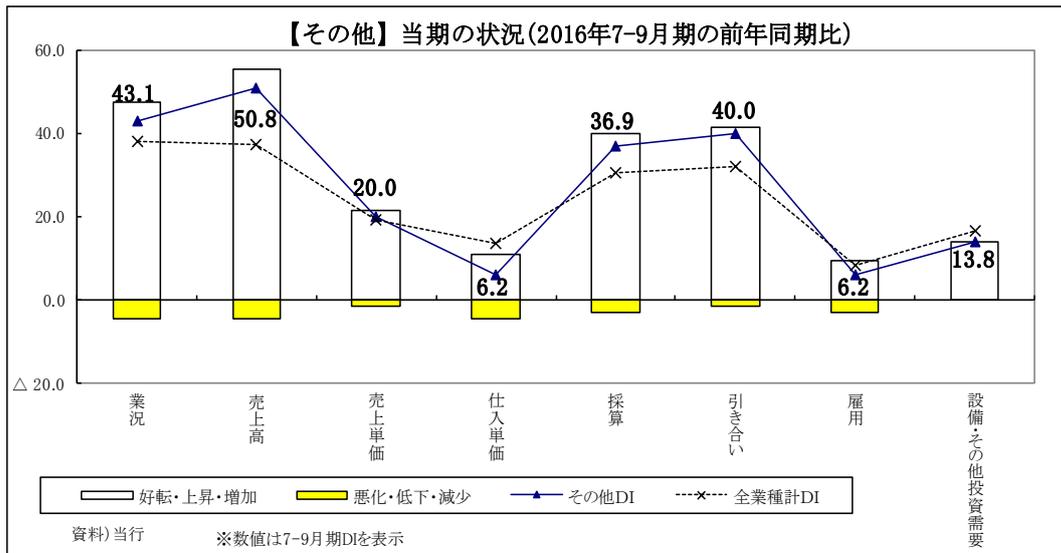
見通し業況DIは 18.0 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、旅行、宿泊、飲食業などでは、インバウンド(訪日観光客)や修学旅行シーズンなどの観光需要が堅調に推移するほか、新規出店、店舗改装、販路拡大などが見込まれており、売上高・売上単価・採算・引き合いの増加が期待されています。一方で、一部では観光のトップシーズン終了による需要の落ち込みを見込む事業者もみられます。



## 10.その他(不動産、運輸、測量、設計コンサル等)

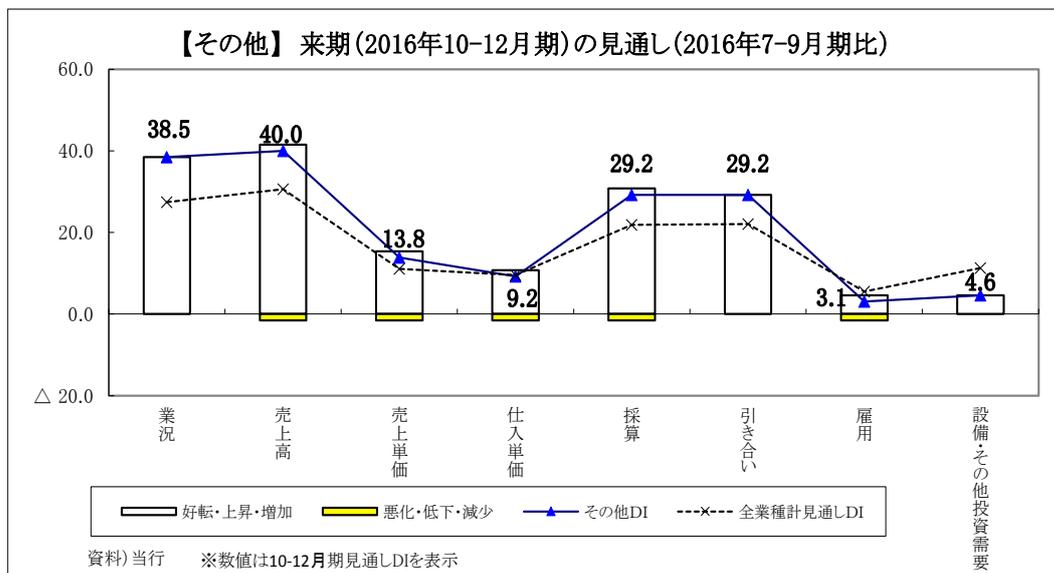
### a.当期の状況(2016年7-9月期の前年同期比)

業況DIは 43.1 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。測量、設計業では公共工事などの受注増加から、売上高・採算・引き合いの増加がみられるほか、運輸業では、観光のトップシーズン到来による国内外観光客の需要増加や原油安の影響による仕入単価の減少や採算の増加がみられます。また、不動産業(販売・仲介・管理)では、アパート、住宅、マンション等の販売が増加したことなどから、売上高・採算・引き合いの増加がみられます。



### b.来期の見通し(2016年10-12月期の2016年7-9月期比)

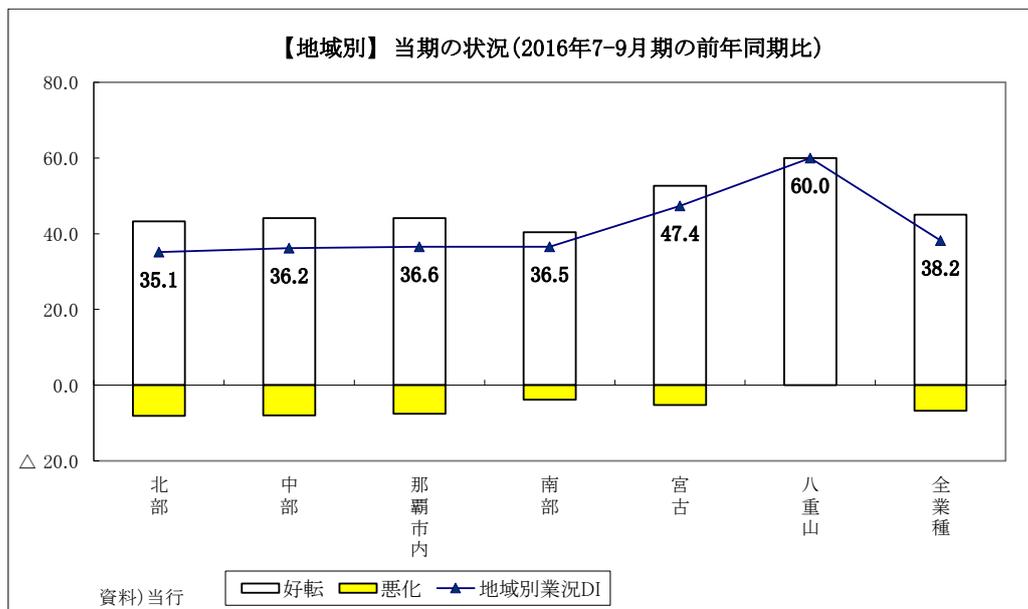
見通し業況DIは 38.5となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、測量、設計、運輸業では、公共・民間工事の受注増加などから、売上高・採算・引き合いの増加が見込まれます。また、不動産業においても、販売などの商談が堅調に推移することが見込まれており、売上高・引き合いの増加が期待されています。



### Ⅲ. 調査結果(2) ～地域別の業況DI～

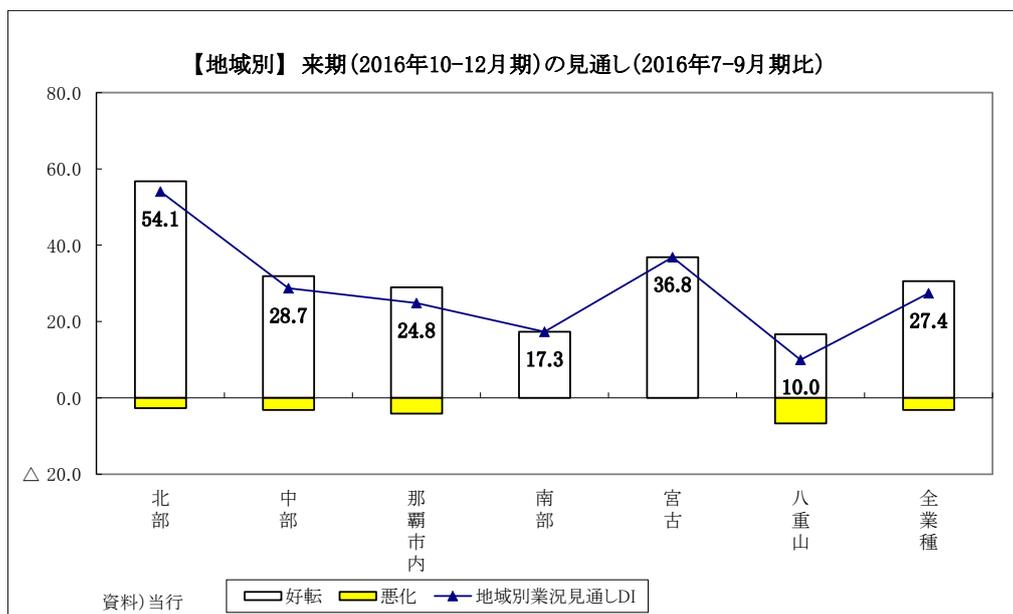
#### 1. 当期の状況(2016年7-9月期の前年同期比)

地域別業況DIは、観光のトップシーズン到来による国内外観光客需要の増加や公共・民間工事の受注増加がみられる八重山地区(60.0)や宮古地区(47.4)をはじめ、観光関連(宿泊・飲食・運輸業等)や建設関連(土木・建築業等)などが好調に推移していることから、全ての地域で業況改善の動きとなりました。



#### 2. 来期の見通し(2016年10-12月期の2016年7-9月期比)

地域別業況見通しDIは、引き続き、全ての地域で業況改善の動きが期待されます。観光客需要の堅調な推移や公共・民間工事の受注増加が見込まれる北部地区(54.1)や宮古地区(36.8)をはじめ、各地域において、修学旅行シーズンや年末商戦に向けた需要の高まりから、業況が好調に推移することが期待されています。



#### IV.まとめ

##### 【当期の業況DI】

- ① 当期（2016年7-9月期）の業況DIは**38.2**ポイント（前年同期比）となり業況改善の動きとなりました。
- ② **観光関連（宿泊、飲食、運輸業など）**では、入域観光客数が好調に推移（7月＝12.9%増、8月＝16.2%増：いずれも前年同月比）しているほか、新規出店や販路拡大などにより、売上高・採算・引き合い・雇用・設備投資需要が増加しています。一部では人手不足による人件費の増加や雇用の確保を懸念している事業者もみられるものの、全体としては業況改善の動きがみられます。
- ③ **建設関連（土木、建築、測量、設計など）**では、公共工事（空港関連、基地内等）や民間工事（アパート、マンション、ホテル、リフォーム等）の受注増加などから、売上高・引き合い・採算が増加しています。一部では資材価格や人件費の高騰による採算の悪化を懸念している事業者や、人手不足から受注を断念している事業者もみられるものの、全体としては業況改善の動きがみられます。
- ④ **小売業（スーパー、コンビニエンスストア、百貨店、観光土産品など）**では、観光のトップシーズン到来による国内外観光客の需要増加や新規出店などにより、売上高・採算・引き合いが増加しています。また、**ガソリン、ガス販売業**では、原油価格下落の影響から売上高、売上単価、仕入単価の減少がみられます。一部では修学旅行、インバウンド（訪日観光客）などの需要に落ち着きが見られ、売上が減少している事業者もみられるものの、全体としては業況改善の動きがみられます。

##### 【来期の見通し業況DI】

- ① 来期（2016年10-12月期）の見通し業況DIは**27.4**ポイント（2016年7-9月期比）となり、引き続き業況改善が期待されます。
- ② **観光関連**では、引き続き、インバウンドや修学旅行シーズンなどの観光需要が堅調に推移するほか、新規出店、店舗改装、販路拡大などが見込まれており、売上高・売上単価・採算・引き合いの増加が期待されています。一部では、観光のトップシーズン終了による需要の落ち込みを見込む事業者もみられるものの、全体としては業況改善の動きが見込まれます。
- ③ **建設関連**では、引き続き、年末にかけて公共・民間工事の受注増加や手持ち工事の完成が見込まれるなど、売上高・採算・引き合いの増加が期待されます。一部では資材価格の高騰や人手不足の影響を懸念している事業者もみられるものの、全体としては業況改善の動きが見込まれます。
- ④ **小売業**では、引き続き、継続的なインバウンド需要の増加を見込むほか、新規出店が予定されており、売上高・引き合いの増加が期待されます。一部では恒常的な人手不足による売上高や雇用への影響を懸念する事業者もみられるものの、全体としては業況改善の動きが期待されます。

（おきぎん経済研究所 研究員 高良 圭）